

～支援の概要～

企業の新たな取組に、市場を見据えた最適な支援策へのリード&フォロー

1. 企業概要

丸一興業株式会社（兵庫県尼崎市杭瀬北新町3-2-28） 代表取締役 田中則彰
TEL: 06-6487-0344 <http://www.maruichi-pack.co.jp/>
(bolda事業部: <http://bolda.jp/>)

①事業内容：

- ・物流包装用木箱・強化ダンボール箱の製作及び梱包
- ・硬質ミルダンによる高品質ディスプレイ什器の製作（新連携認定事業）

②企業紹介：

- ・強化段ボールや木材、合板材を使用した箱で、製品や輸送状況に合わせた最適な梱包を提供
- ・bolda事業では、主に使用する「硬質ミルダン」（牛乳パックなどのリサイクル古紙を原料とした特殊ダンボール）原料とし、森林保全認証（FSC）を取得。



重量物梱包



硬質ミルダン製の椅子

2. 支援内容

- ① 支援先企業が取り組んでいた新たな事業分野について、その市場を見据えて、企業が必要とする試作品の製作や販路開拓等に活用可能な補助金が利用できる、最適な国の支援策を詳しく説明し、十分納得を得てから、着手するとともに、初動段階での丁寧なサポートと、その後のタイムリーなフォローを実施。
- ② 国の支援策の獲得にあたっては、中小機構のPMとの間で経営者の考えを“橋渡し”するような役割。

3. 支援のポイント ～認定支援機関からのコメント～

- ① 支援者としての中小企業診断士は、企業とは異なる切り口で客観的なアドバイスができると思います。支援にあたっては、経営者の意向や考えを十分に把握し、それらを発展させるにはどうすれば良いか、という視点を持つことが重要です。
- ② わたし自身の役割も、経営者の考えを受け手にわかるように伝える“橋渡し”のようなものだと思っています。経営者と受け手（支援策執行側）との間に入り、経営者の取り組みたいこと、そのために必要なことなどを聴き出して整理し、受け手に伝わるようにすることが求められていると思います。
- ③ 認定支援機関同士が連携し、支援対象の分野ごとにその適任者の情報を得ておくことは、支援体制を厚くするという意味からも重要です。わたし自身も、地域のネットワークに参加して、多くの専門家と連携しています。

■認定支援機関の概要■

- ・機関名：
株式会社関西経営サポートセンター
代表取締役 樽谷昌彦
（中小企業診断士、
ITコーディネータ、1級ファイナンシャルプランニング技能士）
- ・住所：
兵庫県尼崎市道意町7丁目1番3
尼崎リサーチ・インキュベーション
センター 634
- ・連絡先：<http://www.a-kksc.jp/>
HPの「お問い合わせ」からお願いします。
- ・活動テーマ：
“中小企業の方々の経営をお手伝いさせていただきます”
長年の地域金融機関での勤務経験を生かし、問題解決・目標達成に向け、コーディネーターとしてお手伝いさせていただきます。

樽谷昌彦氏

